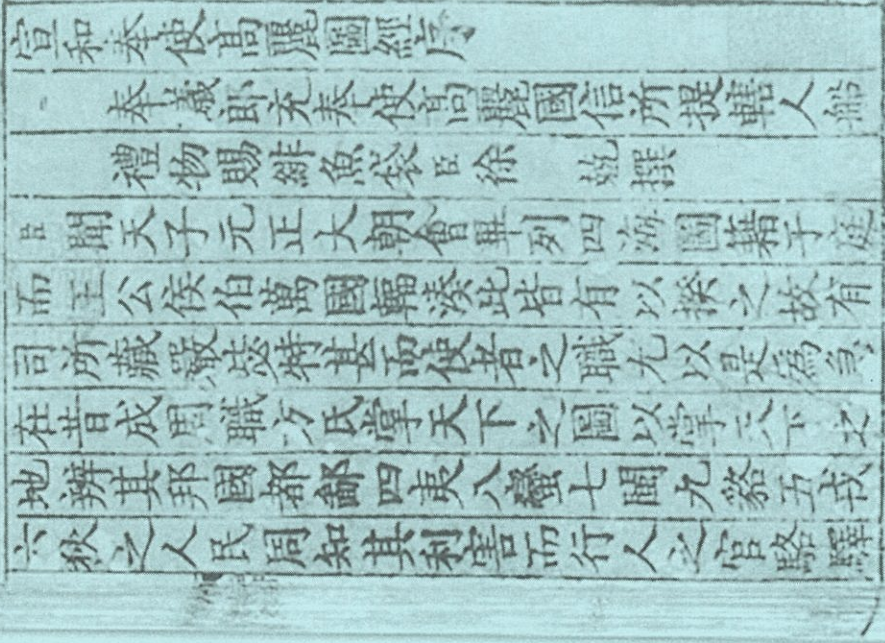


北宋汝窯青磁と高麗青磁

第10回 李秉昌博士記念公開講座のご案内



徐誥「宣和奉使高麗圖經」(1124年序)

日時 2017年2月18日(土)
12時30分(受付開始)～17時

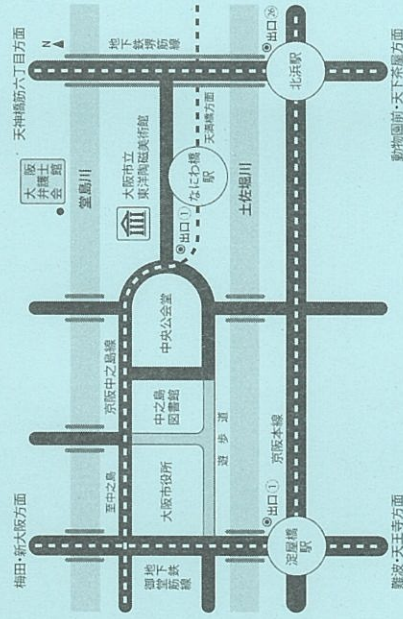
会場 大阪弁護士会館 10階会議室
(大阪市北区西天満1-12-5)

講座内容

高麗青磁は10世紀に越窯青磁の技術をもとに生まれ、その後中国陶磁から絶えず影響を受けてきました。なかでも12世紀前半には北宋の汝窯青磁を彷彿とさせる、いわゆる「翡色」青磁が生み出されました。北宋宣和5年(1123)に使節団の一員として高麗の都・開城を訪れた徐兢による見聞記、『宣和奉使高麗図経』のなかで、当時高麗の人々が青磁を「翡色」と呼び、「越州古秘色や汝州新窯器に似ているもの」があることが報告されています。その後の窯址などの発掘や中国における高麗青磁の出土例の増加など様々な研究成果も加わり、汝窯青磁と高麗青磁の関連についてはますます関心が高まっています。

そこで今回、2016年12月10日から開催の特別展「台北 國立故宮博物院—北宋汝窯青磁水仙盆」(~2017年3月26日)に併せ、台湾と韓国から最前線の研究者をお招きし、最新の研究成果をご紹介します。

なお、本講座は、在日韓国人である故李秉昌(イ・ビョンチャン)博士にご寄贈いただいた韓国陶磁研究基金によって開催するものです。



京阪・中之島線「なにわ橋」駅より徒歩約5分、
地下鉄御堂筋線・京阪本線「淀屋橋」「北浜」駅より
徒歩約7分、JR東西線「北新地」駅より徒歩約15分

スケジュール

12:30 — 受付開始
※準備の都合により、12時30分以前に会場へはお入り頂けません

12:55 — 13:00 開会

13:00 — 14:10 「汝窯と北宋官窯」

ユウ・エイチン
余佩瑾氏
(台北 國立故宮博物院・器物處處長)

14:10 — 14:15 休憩

14:15 — 15:25 「高麗の睿宗と北宋の徽宗
—12世紀初期の高麗青磁と
汝窯及び北宋官窯」

イ・ヒョクガン
李喜寬氏
(韓国 前湖林博物館・学芸室長)

15:25 — 15:30 休憩

15:30 — 16:00 「汝窯の特質と高麗青磁(仮題)」

でがわてつこう
出川哲朗
(東洋陶磁美術館・館長)

16:00 — 16:05 休憩

16:05 — 16:35 「汝窯とその周辺
—“汝州新窯器”をめぐる」

こばやしとし
小林仁
(東洋陶磁美術館・主任学芸員)

16:35 — 16:40 休憩

16:40 — 17:00 総括・質疑応答

17:00 閉会



定員150名(先着順)
※聴講無料、10階会議室に直接お越し下さい



大阪市立東洋陶磁美術館 学芸課
(TEL: 06-6223-0055)

主催 後援

大阪市立東洋陶磁美術館・公益財団法人大阪市博物館協会
駐大阪大韓民国総領事館 韓国文化院、東洋陶磁学会